

大名のくらし

—「表」と「奥」—

入館
無料

2024

4月22日(月) —

6月22日(土)

開館時間: 平日 10:00~17:00

土曜 10:00~13:00

休館日: 日曜、祝日(ただし4月29日は17時まで開館)、6月4日

※休館日、開館時間が変更になる場合があります。

詳しくは当館のウェブサイトをご覧ください。

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-1 2号館B1F

03-3237-2665

<http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/muse/>

アクセス

- ・東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅下車A8出口から徒歩1分
- ・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車1b出口から徒歩3分

公式 SNS アカウント



X(旧 Twitter)



Instagram



鶯色糸織大鎧
江戸時代・19世紀

橘若松模様達鷹羽紋付蒔絵 湯桶・盥
江戸時代・18世紀後半~19世紀前半



ごあいさつ

封建制度が確立された江戸時代、公的な場を「表」と呼び、私的な場を「奥」と呼ぶことが定着し、男性は「表」の世界に、女性は「奥」の世界に属するものという社会通念が生まれました。法律や規則はもっぱら「表」の世界を対象とするものであることから、男性にあっては、衣服その他の身の回り品ももっぱらその身分に相応しいものが厳しく求められました。それに対して「表」から離れた場である「奥」の存在である女性に対しては、衣服類にもはるかに自由な選択が許されていました。とはいえ、武家女性はそうした状況の中でも、町人女性とは異なる特徴的な様式を好んで用いました。

今回の展示は、武家の生活を大きくとらえ、それぞれ「表」と「奥」に主たる足場を置く武家男性と武家女性の服飾を中心に、武家男性の表道具とされる甲冑や刀剣、武家女性が奥の生活で使用する調度類も合わせて展示いたします。



藤金銀時絵双六盤
江戸時代・18世紀



猩々緋羅紗地蛇の目紋付陣羽織
江戸時代・19世紀 加藤家伝来



刀 銘 備州長船祐定
室町～桃山時代・16世紀

関連イベント

【講演会】

演 題:「お姫様のお嫁入り道具ー大名婚礼調度の美と歴史ー」

講 師:小松大秀氏(公益財団法人永青文庫館長)

開催日時:5月18日(土) 14:00～15:30

開催形式:対面

申込方法:当館ウェブサイト、またはQRコードから

対面定員:50名(事前予約制)

講演会お申し込みはこちら



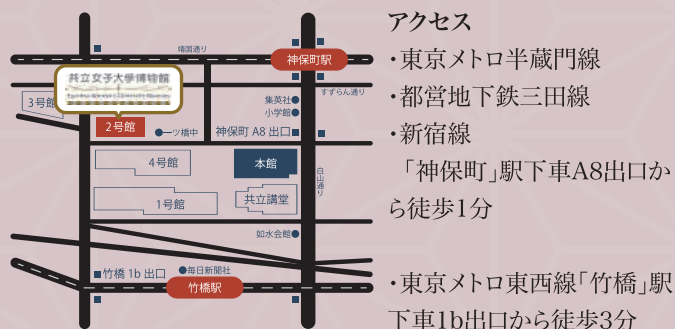
【ギャラリートーク】

開催日時:① 5月1日(水) 12:50～13:10

② 6月11日(火) 12:50～13:10

当館学芸員が作品の解説をします。

事前申し込み不要。開始時刻に展示室へお集まりください。



白麻地流水風景模様帷子
江戸時代・19世紀 八代松井家伝来